

阿蘇家保だより

平成26年3月号

熊本県阿蘇家畜保健衛生所 阿蘇市一の宮町宮地2639-1
TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

牛ウイルス性異常産を予防しましょう！

牛ウイルス性異常産は**流死産**や生後直後の子牛での**神経症状**等を呈する疾病で、代表的なものにアカバネ病やイバラキ病などがあります。これらの疾病を引き起こすウイルスは、蚊やヌカカなどの**吸血昆虫によって媒介**されます。日本への侵入経路は、ウイルスを持った吸血昆虫が梅雨時期以降に海外から気流に乗って侵入してくるものと考えられています。

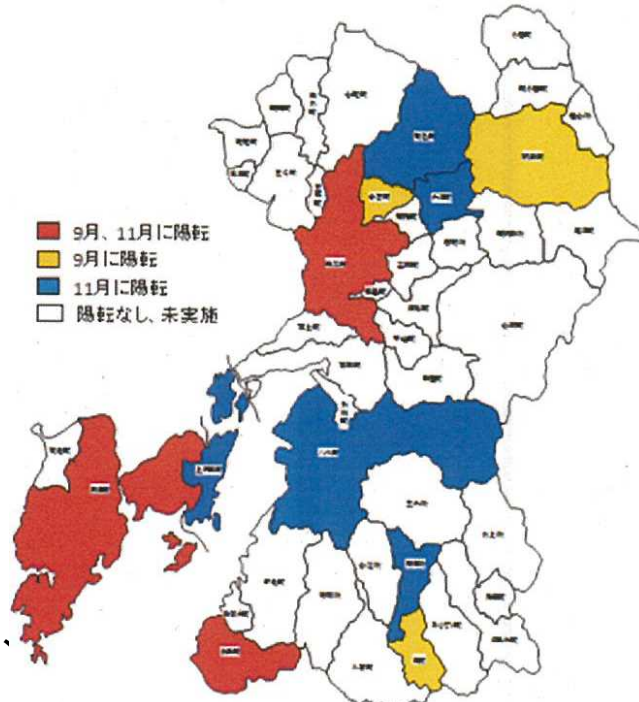
熊本県では毎年、吸血昆虫が活動する夏から秋にかけて子牛を対象に抗体検査を実施し、流行状況を調査しています。本年度の調査では、9月以降の検査で抗体の陽転が確認されたため、**8月以降にアカバネウイルスの流行があったもの**と思われます。

また、熊本県以外の九州各県においても同様に、9月以降に抗体の陽転が確認され、特に福岡県、宮崎県、及び鹿児島県においては、生後感染事例も確認されているため、今後もアカバネ病による異常産の発生には注意が必要です。

牛ウイルス性異常産は、「牛異常産混合ワクチンの母牛接種」により予防することが出来ます。吸血昆虫が活動をはじめる前までに接種し、異常産による被害を防ぎましょう。

ワクチン接種の注意点

毎年接種が必要です。初めてワクチンを接種する、または昨年未接種だった場合は、4週間隔で2回接種する必要があります。昨年接種した場合は、1回接種します。



熊本県における
アカバネウイルス抗体陽転時期(H25)

熊本県防災情報メールサービスをご活用下さい！

防災情報や悪性家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくはQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/> ➔



豚流行性下痢の侵入を防止しましょう

豚流行性下痢は豚の食欲不振や水様性下痢、嘔吐を主徴とする急性伝染病で、昨年10月から本年3月までに、沖縄県4例、茨城県2例、宮崎県43例及び鹿児島県118例と相次いで発生しています。本年1月には本県で5例の発生が確認され、2月には愛知県5例、青森県1例、3月には高知県、岡山県で1例、佐賀県で2例と新たな感染が認められ、本病の感染が広範囲に拡大している状況です(平成26年3月11日現在)。

ウイルスが侵入し、感染を拡大させた原因として、主に次の4つが考えられています。

1. 農場入場時に消毒が実施されている、又は確認していなかったこと
2. 家畜の導入、出荷時に農場作業員と運転者との作業動線が交差していたこと
3. 農場専用の長靴・白衣・手袋を使用していなかったこと
4. ネコ、野鳥(カラス)などの豚舎内への侵入があったこと

疾病の侵入を防止するため、飼養衛生管理基準を遵守し、清掃・消毒を徹底しましょう。また、健康観察を毎日行い、嘔吐や下痢等の本病の関与が疑われる場合は、速やかに家畜保健衛生所へ御連絡をお願いします。

- 車両消毒はタイヤ回りだけでなく、荷台、タイヤハウス、運転席マット、長靴、手袋など、**病原体が付着する可能性のあるものを徹底的に消毒**し、農場管理者などの**確認**を行う。
- 家畜の導入、出荷時の作業員動線を確認し、**運転席との交差を防ぐ**。
- 農場立入者には、**農場専用の長靴、作業服の確実な着用**を徹底させる。
- 状況に応じた野生動物侵入防止策(防鳥ネットの設置など)を実施する。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	北朝鮮	1月8日	豚	O
	モンゴル	2月3日~2月20日	牛	A
		1月25日	牛、羊/山羊、豚	A
	ロシア	2月7日	牛	O
		2月12日	牛	A
アフリカ豚コレラ	ポーランド	2月18日	イノシシ	
	ロシア	1月15日 2月10日	豚 イノシシ	
高病原性鳥インフルエンザ	中国	2月13日	家きん	H5N1
	カンボジア	2月18日~2月19日	家きん	H5N1亜型
	ネパール	2月13日	家きん	H5N1
	インド	1月31日	イエガラス	H5N1
	ベトナム	2月24日	家きん	H5N1亜型
	韓国	1月16日~	あひる、鶏	H5N8
	低病原性鳥インフルエンザ	中国	2月15日	家きん

3月5日現在